

# 準天頂衛星システム利活用促進に関する 施策について



平成 3 1 年 1 月

農林水産省

# スマート農業技術の開発・実証プロジェクト

平成30年度第2次補正予算 6,153百万円

農林水産省

## 事業概要・目的

### 1. スマート農業技術の開発・実証

○ 実用化・量産化の手前にあるロボット・AI・IoT等の先端技術を、生産現場において、生産から出荷まで一貫した体系として導入・実証し、経営効果を明らかにする取組を支援します。

また、生産現場が抱える課題の解決に必要な要素技術を現場に導入し、技術・経営の効果を実証する取組等を支援します。

併せて、スマート農業と連携しつつ、栽培体系の高度化等を図るための生産・加工・流通関連技術の開発を支援します。

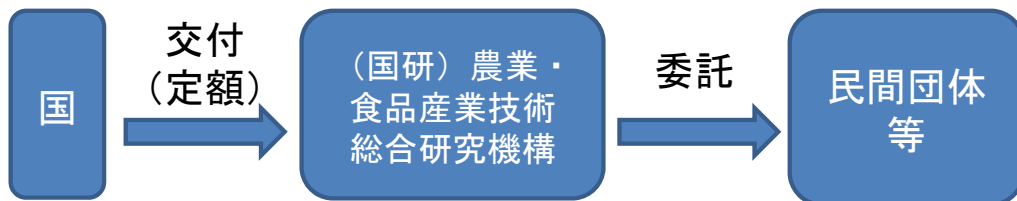
### 2. 社会実装の推進のための情報提供

○ (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構が、収集したデータを基にした技術面・経営面からの分析・解析を行います。また、これらの分析・解析結果を踏まえ、先端技術の導入による最適な技術体系を検討し、情報提供を行います。

## 事業イメージ・具体例



## 資金の流れ



## 期待される効果

○ 生産額を1割以上増加又は生産コストを2割以上低減させる技術体系の確立につながります。

# スマート農業加速化実証プロジェクト

農林水産省

平成31年度予算概算決定額 505百万円(平成30年度予算額 ー )

## 事業概要・目的

### 1. 最先端技術の導入・実証

- (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構、農業者、民間企業、地方公共団体等が参画して、スマート農業技術の更なる高みを目指すため、現在の技術レベルで最先端となるロボット・AI・IoT等の技術を生産現場に導入し、理想的なスマート農業を実証する取組を支援します。

### 2. 社会実装の推進のための情報提供

- 得られたデータや活動記録等は、(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構が技術面・経営面から事例として整理して、農業者が技術を導入する際の経営判断に資する情報として提供するとともに、農業者からの相談・技術研鑽に資する取組を支援します。

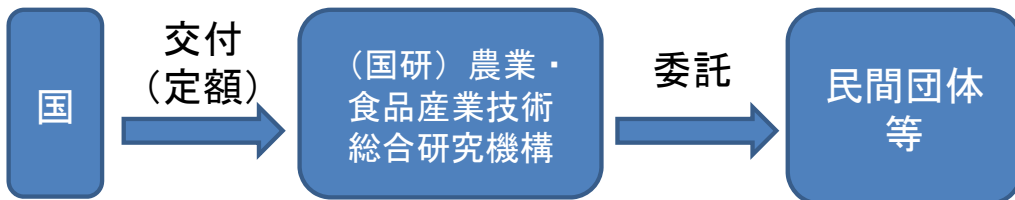
## 事業イメージ・具体例

### 生産から出荷までの先端技術の例



「スマート農業」の社会実装を加速化

## 資金の流れ



## 期待される効果

- 農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践することが可能になります。